

倉敷発のローテクノロジーでメキシコに貢献

～貝殻を活用した人工魚礁で海洋建設株式会社が JICA と契約～

国協力機構（JICA）は1月26日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において海洋建設株式会社（岡山県倉敷市、片山真基代表取締役社長）が提案する「シェルナースを用いた持続可能な漁業に係る案件化調査」（メキシコ）を採択しました。

カリフォルニア湾はメキシコの全漁獲量の約44%を占める大漁業地ですが、南バハカリフォルニア州は海洋資源の減少が特に深刻となっています。また、貝類の養殖が盛んなため、年間1,440トンの貝殻が廃棄物として堆積しており、その処理も問題となっています。

本事業では、この2つの課題に同時にアプローチする方法として、「シェルナース」の現地適合性を検証します。「シェルナース」は瀬戸内の特産品でもある牡蠣（およびその他貝類）の殻を活用した人工魚礁で、その高い環境保全効果から様々な環境ラベル認定、各省庁からの表彰等をうけ、日本ではすでに多くの自治体で導入されています。これから約1年をかけて、現地の海洋資源の現状、小型「シェルナース」機の沈設による検証および各種データ収集などを行い、廃棄貝殻の減容化、海洋資源の回復を目指します。



廃棄された貝殻を骨組みに詰め込む作業風景



貝殻の魚礁はコンクリート製よりも魚が集まりやすい

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2016年度第2回分は昨年9月に公示を行い、36件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考：（プレスリリース）案件化調査2016年度第2回公示の採択結果について

URL：https://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/ku57pq00001r9vne-att/investigation_160905_result.pdf

【本件に関する問い合わせ・申込み先】		地域から世界へ、世界から地域へ 元気をつなぐ JICA 中国 JICA 中国ウェブサイト
JICA 中国 総務課 担当：橘(案件担当)		
TEL：090-3639-8678 E-mail：Tachibana.Maki@jica.go.jp		
		